

地域生活支援拠点等の整備について

1 地域生活支援拠点等運営会議の設置

地域生活支援拠点（以下「拠点」という）等の整備にあたっては、令和3年度から令和4年度の2か年にわたり、「地域生活支援拠点等“運営検討会”」を設置し、拠点等の整備について関係部署と検討を重ねてきた。板橋キャンパス跡地活用プランの延期等、整備にあたって課題は多いものの、5つの機能（①相談、②緊急時の受入・対応、③体験の機会・場、④専門的人材の確保・養成、⑤地域の体制づくり）のそれぞれの役割や業務の内容が定まりつつある。よって、令和5年度からは会議の名称を「地域生活支援拠点等“運営会議”」（以下「運営会議」という）」に改め、拠点等の各機能の充実に向けた検討に加え、取り組みの評価、検証を行っていく。

2 各機能の進捗状況について

各機能における取り組みの進捗状況について、令和4年度第2回障がい当事者部会にて報告した内容から進展した項目を、以下のとおり報告する。

（1）相談機能

○安心支援プランの運用

緊急時を想定し、支援が見込めない世帯について、対応方法をあらかじめ関係者間で共有する。

進捗状況

- ・安心支援プランの様式案を作成した。
- ・相談支援事業所連絡会等にて、安心支援プランを説明した。

（2）緊急時の受入・対応

○赤塚ホーム短期入所事業

赤塚ホーム内において、介護者のレスパイト枠の受入拡大として、短期入所事業を開始する。

進捗状況

- ・令和5年10月1日から短期入所を開設予定。
- ・拠点等の登録を検討中。詳細については資料3-2を参照。

○板橋キャンパス跡地の整備

板橋キャンパス（都所有地）跡地に複合型障がい福祉施設を整備する。

進捗状況

- ・機能を①グループホーム、②短期入所、③相談支援、④生活介護と定めた。
- ・令和5年度中に事業所選定予定。詳細については資料3-2を参照。

○介護者不在等障がい者緊急一時支援事業の開始
介護者から介護が受けられなくなり、在宅での生活が困難となった障がい者を、区と協定を締結した施設において一時的に保護する。
進捗状況
・令和5年4月に区内介護施設と協定を締結し、緊急時における障がい者の受け入れ体制を整備した。

（３）体験の機会・場

○赤塚ホーム短期入所事業
赤塚ホーム短期入所事業の開始に合わせ、体験利用制度を設ける。
進捗状況
既述のとおり。

○板橋キャンパス跡地の活用
板橋キャンパス（都所有地）跡地を複合型障がい福祉施設として整備する。
進捗状況
既述のとおり。

（４）専門的人材の確保・養成

○研修の充実
基幹相談支援センターが、支援者向けの専門的研修を実施する。
進捗状況
<ul style="list-style-type: none"> ・区内主任相談支援専門員が協働し、相談支援専門員を対象とした研修会を実施した。 ・令和4年度に、支援者向けの「医療的ケアに関する研修」、「強度行動障がいに関する研修」、「精神障がいに関する研修」、「高次脳機能障がいに関する研修」を動画配信形式で開催した。 令和5年度も、動画配信にて開催を予定している。

（５）地域の体制づくり

○関係事業所との連携体制構築
各福祉サービス事業所等との連携
進捗状況
<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年8月現在、区内の相談支援事業所3か所が拠点として登録。 ・令和5年度第1回運営会議を開催した。